

宮崎県鋳工業指数の改定について

令和 8 年 2 月
宮崎県総合政策部統計調査課

1 改定の趣旨

本県では、県内の生産活動の動向を把握するための重要な地域経済指標の一つとして、鋳工業指数を毎月作成・公表している。

鋳工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成 22 年 3 月統計基準設定）において、「指数の基準時は、5 年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が 0 又は 5 である年とする」とされている。

そのため、本県では、この基準に基づき、基準時を平成 27 年（2015 年）から令和 2 年（2020 年）に改定し、ウエイトや採用品目の見直しを行った。

2 改定する指数の種類

令和 2 年（2020 年）基準へ改正を行った指数は、平成 27 年（2015 年）基準と同様、以下の 3 種類である。

- ①生産指数（付加価値額ウエイト）
- ②出荷指数
- ③在庫指数

3 改定の内容

(1) 基準時及びウエイト算定年次の変更

指数の基準時及びウエイト算定年次を平成 27 年（2015 年）から令和 2 年（2020 年）に変更した。

これにより、各指数値は平成 27 年（2015 年）の平均値を 100.0 とした比率から、令和 2 年（2020 年）を 100.0 とした比率で示されることとなった。

(2) 業種分類及び採用品目の見直し（別紙 1）

令和 2 年（2020 年）基準指数の業種分類については、平成 27 年（2015 年）基準と同様としている。

なお、業種分類においては、原則として日本標準産業分類に準拠している。

生産・出荷・在庫の各採用品目は、経済センサス－活動調査を鋳工業指数の業種分類・品目概念に適合するように組替えを行った上で基礎データとし、業種別に代表性等の観点から品目選定を行った。

(3) ウエイトの見直し（別紙 2）

ウエイトとは、基準年の鋳工業全体に対する品目や業種等の金額構成比を 10,000 分比で表すものである。

業種別のウエイトについては、令和 3 年経済センサス－活動調査組替表を基礎データとして、指数の業種分類・概念に適合するように組替えを行った上で算定した。

(4) 季節調整法の見直し

季節調整法は、米国センサス局の X-12-ARIMA を用い、ARIMA モデルやオプションの見直しを行った。

4 新基準への切り替え時期と改定結果（別紙 3）

令和 2 年（2020 年）基準による指数値へは、令和 7 年 12 月分速報公表分（令和 8 年 3 月公表予定）から切り替える。

過去系列は、平成 30 年（2018 年）1 月以降について新基準による系列を作成した。

また、平成 30 年（2018 年）1 月から 3 月の時点で旧基準との接続を行い、平成 25 年（2013 年）まで遡及した過去時系列（接続指数）を整備した。

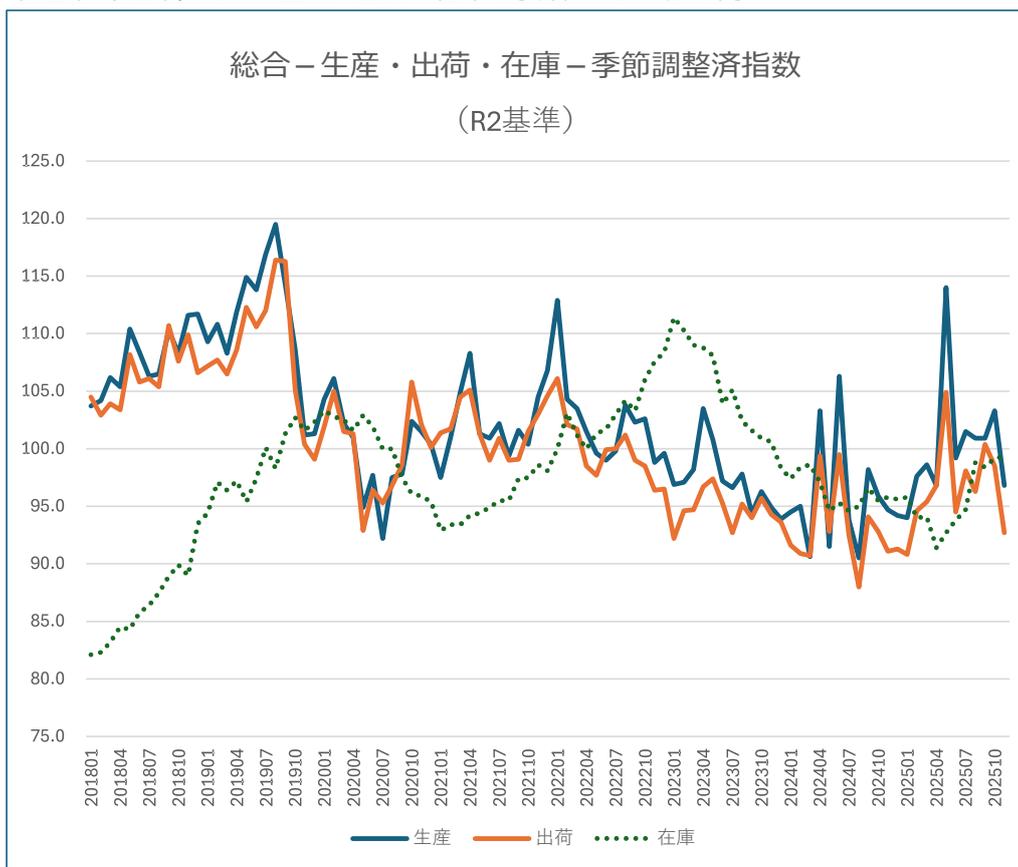
採用業種と日本標準産業分類との関係
 <R2 (2020) 年基準>

採用業種の分類	日本標準産業分類
鉱工業（製造工業）	鉱工業（製造工業）
鉄鋼・金属製品工業	鉄鋼業 金属製品製造業
汎用・生産用・業務用機械工業	はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業
電子部品・デバイス工業 電気・情報通信機械工業	電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業
輸送機械工業	輸送用機械器具製造業
窯業・土石製品工業	窯業・土石製品製造業
化学工業	化学工業
パルプ・紙・紙加工品工業	パルプ・紙・紙加工品製造業
繊維工業	繊維工業
食料品工業	食料品製造業
木材・木製品工業	飲料・たばこ・飼料製造業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業
その他工業（印刷・プラスチック・ゴム・その他）	印刷・関連業 プラスチック製品製造業（別掲を除く） ゴム製品製造業 その他の製造業
	非採 用 非鉄金属製造業 石油製品・石炭製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業

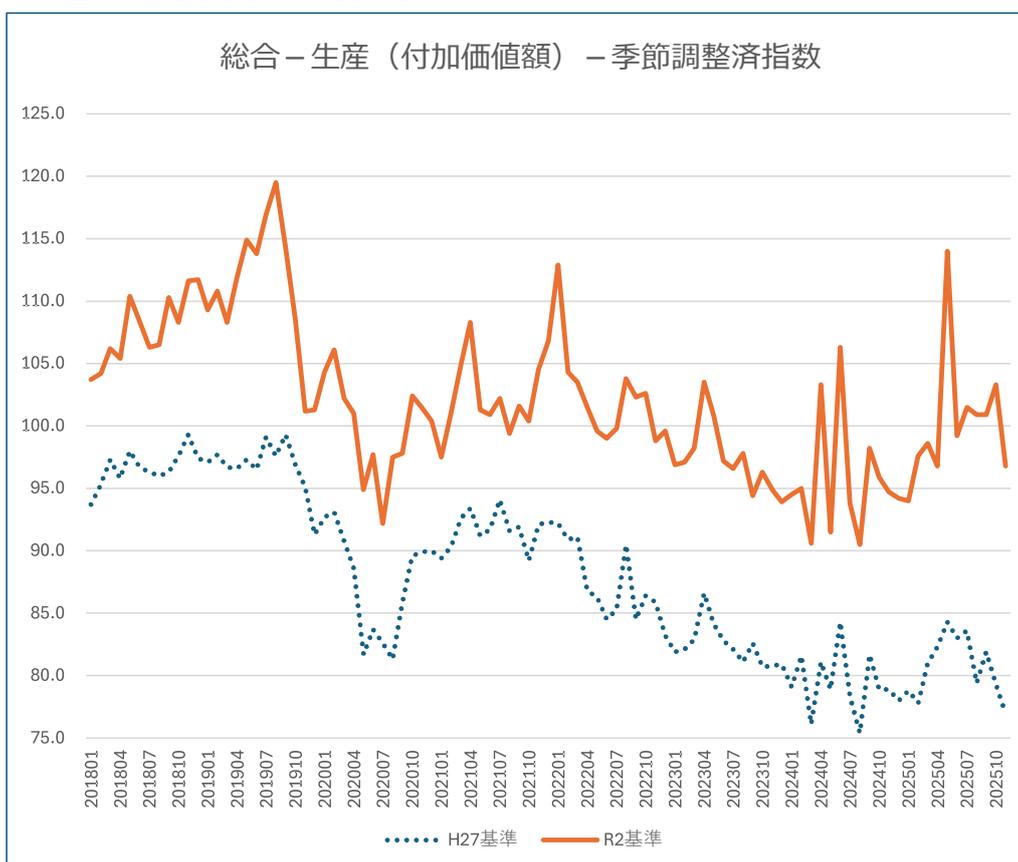
	生産（付加価値額ウエイト）			出荷額ウエイト			在庫額ウエイト		
	H27	R2	増減	H27	R2	増減	H27	R2	増減
鉱工業（製造工業）	10,000.0	10,000.0	-	10,000.0	10,000.0	-	10,000.0	10,000.0	-
鉄鋼・金属製品工業	338.8	329.8	▲ 9.0	321.7	332.1	10.4	623.6	x	x
汎用・生産用・業務用機械工業	543.9	813.0	269.1	428.4	599.6	171.2	198.5	142.3	▲ 56.2
電子部品・デバイス工業	1,444.8	1,212.7	▲ 232.1	1,095.1	1,172.6	77.5	1,182.5	1,369.3	186.8
電気・情報通信機械工業	283.7	1,046.8	763.1	874.8	622.7	▲ 252.1	x	x	x
輸送機械工業	334.3	481.5	147.2	372.0	451.0	79.0	x	x	x
窯業・土石製品工業	318.6	365.6	47.0	205.3	211.3	6.0	117.2	243.5	126.3
化学工業	1,189.1	711.8	▲ 477.3	1,196.9	849.3	▲ 347.6	2,545.7	1,501.2	▲ 1,044.5
パルプ・紙・紙加工品工業	315.1	157.6	▲ 157.5	275.2	227.1	▲ 48.1	548.2	x	x
繊維工業	765.5	459.3	▲ 306.2	561.6	490.0	▲ 71.6	743.1	57.9	▲ 685.2
食料品工業	2,566.6	2,432.4	▲ 134.2	3,188.1	3,398.4	210.3	2,745.3	4,585.9	1,840.6
木材・木製品工業	449.7	469.4	19.7	353.0	427.9	74.9	x	932.5	x
その他工業（印刷・プラスチック・ゴム・その他）	1,449.9	1,520.1	70.2	1,127.9	1,218.0	90.1	862.5	652.6	▲ 209.9

「x」は秘匿としているもの。

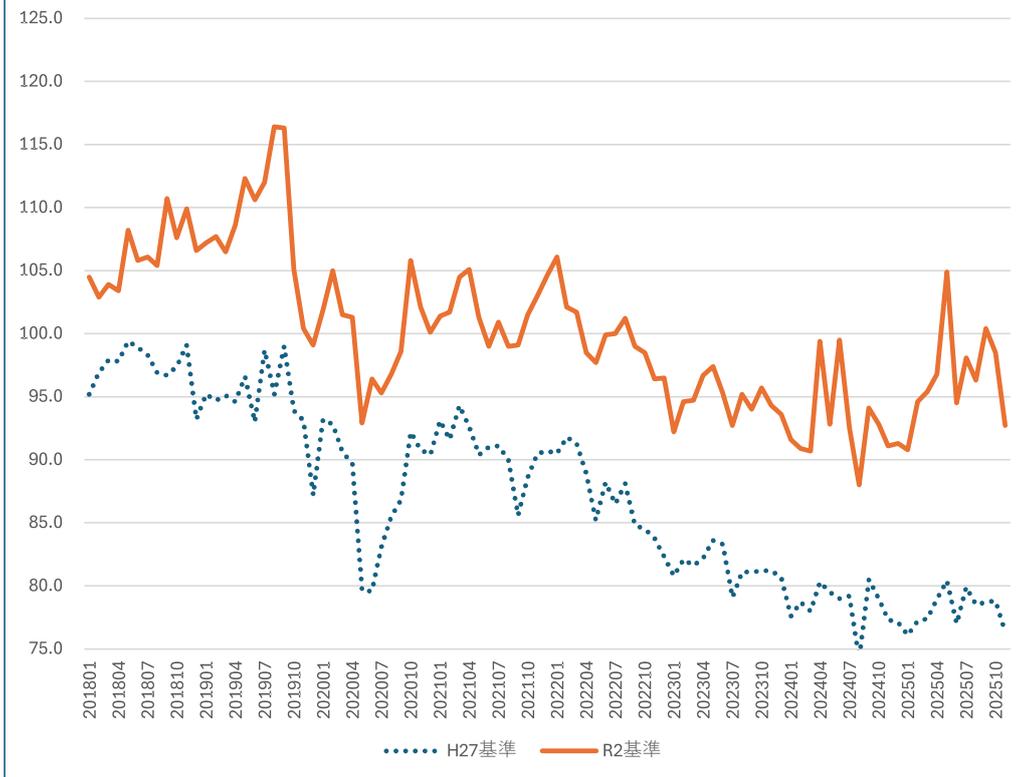
新基準（R2年）による生産・出荷・在庫の季節調整済指数動向



新旧基準による季節調整済指数の動向



総合 - 出荷 - 季節調整済指数



総合 - 在庫 - 季節調整済指数

